

八幡山城と八幡堀

滋賀県立大学名誉教授 中井 均

◆はじめに

- ・観光地八幡堀 ⇒ 何のために掘られた堀なのか【城下町を囲う堀ではない】
- ・城下町を囲う堀 ⇒ 惣構の出現【織豊政権がいかに惣構を取り入れたのか】

◆天正13年体制の近江

- ・天正13年(1585)体制の近江 ⇒ 前年の小牧長久手合戦の実質上の敗北【大坂城の最前線として近江に新たな大名が配置され築城がおこなわれる】
- ・豊臣政権の城郭政策 ⇒ 東海、北陸からの街道に新たな築城がおこなわれる【明確な築城意図をみることができる】
 - 拠点としての八幡山城 ⇒ 下街道を押さえる八幡山に新規築城【豊臣秀次(実質的な領国支配は「関白殿一老」の田中吉政)】
 - 水口岡山城 ⇒ 東海道を押さえる岡山(古城山)に新規築城【中村一氏による築城】
 - 佐和山城 ⇒ 中山道を押さえる佐和山城を改修する【堀尾吉晴が入城し、天正地震後に改修】
 - 長浜城 ⇒ 北陸道を押さえる長浜城を改修する【山内一豊が入城し、天正地震後に改修】
 - 大津城 ⇒ 大津港を守備する目的で坂本城より移動【浅野幸長が入城する】

◆八幡山城の構造

- ・織豊系城郭としての八幡山城 ⇒ 石垣(高石垣)・瓦・礎石建物(天守)の3つの要素から構成される城郭【織田信長と一門・家臣団、豊臣秀吉と一門・家臣団による斉一性の強い城郭構造】
 - 信長と一門、秀吉と一門 ⇒ 瓦には金箔が施される【高石垣・金箔瓦・天守】
- ・八幡山城の石垣は基本的には天正13年(1585)に羽柴秀次によって構築されたものと考えられる ⇒ しかし本丸北西隅部の算木積、矢穴技法によって割られた石財使用【限りなく文禄年間に近い】
 - ※北垣聰一郎氏編年のI期-3(文禄年間)に相当か(『石垣普請』による)
- ・しかし天正13年(1585)築城のものでない可能性が大 ⇒ 天正18年(1590)に秀次が清須城に移り、替わって京極高次が入城するが、文禄4年(1595)に廃城となる【現在の石垣は部分的に京極高次によって限りなく文禄4年に近い時期に改修された可能性が高い】
 - ※さらに江南洋氏(元近江八幡市郷土資料館館長)によると、本丸西側石垣内部の埋没し

た石垣の存在が語られている

- ・出丸の石垣は南東隅部が角部ではなく丸く収められている ⇒ 日本城郭の石垣は必ず隅角部を設けるなかで極めて異例な取め方【岩盤上に積み上げるために角部を構えられなかった結果か】

※樹木を伐採することで初めて明らかとなった

- ・八幡山城の天守 ⇒ 八幡山城最大の謎【天守台がない】

「江州蒲生郡八幡山豊臣関白秀次古城之図」(寛政10年:1798)には天守台が描かれる
昭和37年の瑞竜寺建設に伴う発掘調査で検出された本丸御殿の礎石建物 ⇒ 天守台を伴わない天守礎石の可能性

- ・秀次居館 ⇒ 詰城としての山城【防御空間】と、屋敷としての山麓居館【居住空間】という二元的構造

極めて戦国的な構造 ⇒ 実は天正13年体制の佐和山城も水口岡山城も同じ構造【近江の臨戦体制を端的に示す】

- ・秀次居館の発掘調査 ⇒ 巨大な石垣に囲まれた空間から検出された礎石建物【居館施設】

遺構面を覆うように貼られた粘土層と破碎された瓦【秀次居館を封印する破城(城割り)】

- ・出土した金箔瓦 ⇒ 瓦当面の凸部に赤漆を塗り金を貼る【きらびやかな金色を創出】
沢瀉紋【秀次の家紋か】、桐紋【豊臣の後継者として】の金箔鬼瓦

◆八幡堀の掘削

- ・八幡山の山麓に人工的に巡らされた水堀 ⇒ 琵琶湖に直結【物資の城下までの搬入と武家町を防御する、水運と防御】

- ・惣構 ⇒ 城下町を取り込む堀の初源【天正15年(1583)頃からの小田原城の惣構】

実は織田、豊臣の城下町には惣構は構えられていなかった

- ・天正18年(1590)の豊臣秀吉による小田原城攻め ⇒ 目にした小田原城の惣構【小田原合戦後に豊臣政権が導入】

- ・天正13年体制の城郭には導入されていない ⇒ しかし山麓には堀が巡らされる【八幡山城、水口押す山城、佐和山城】

※佐和山城下では文禄5年(1596)に惣構の普請がおこなわれている

- ・武士の居住地のみを防御する堀 ⇒ 町人町は堀外に形成される【但し鉄砲職人など武器・武器を製作する工人は堀内に居住させられる】

※八幡山【鉄砲町】、長浜城【踏鞴町】、佐和山城【火箱町】

◆おわりに

- ・高度経済成長に伴う八幡堀の運命 ⇒ 蚊の温床となり、悪臭を放つ【埋めて再利用】

※寸でのところで埋め立てが阻止される

それが現在では近江八幡市最大の観光地となる

- ・近江八幡市のルーツ ⇒ 八幡山城が築かれ城下町が形成される【城は廃されるが城下町は残された】

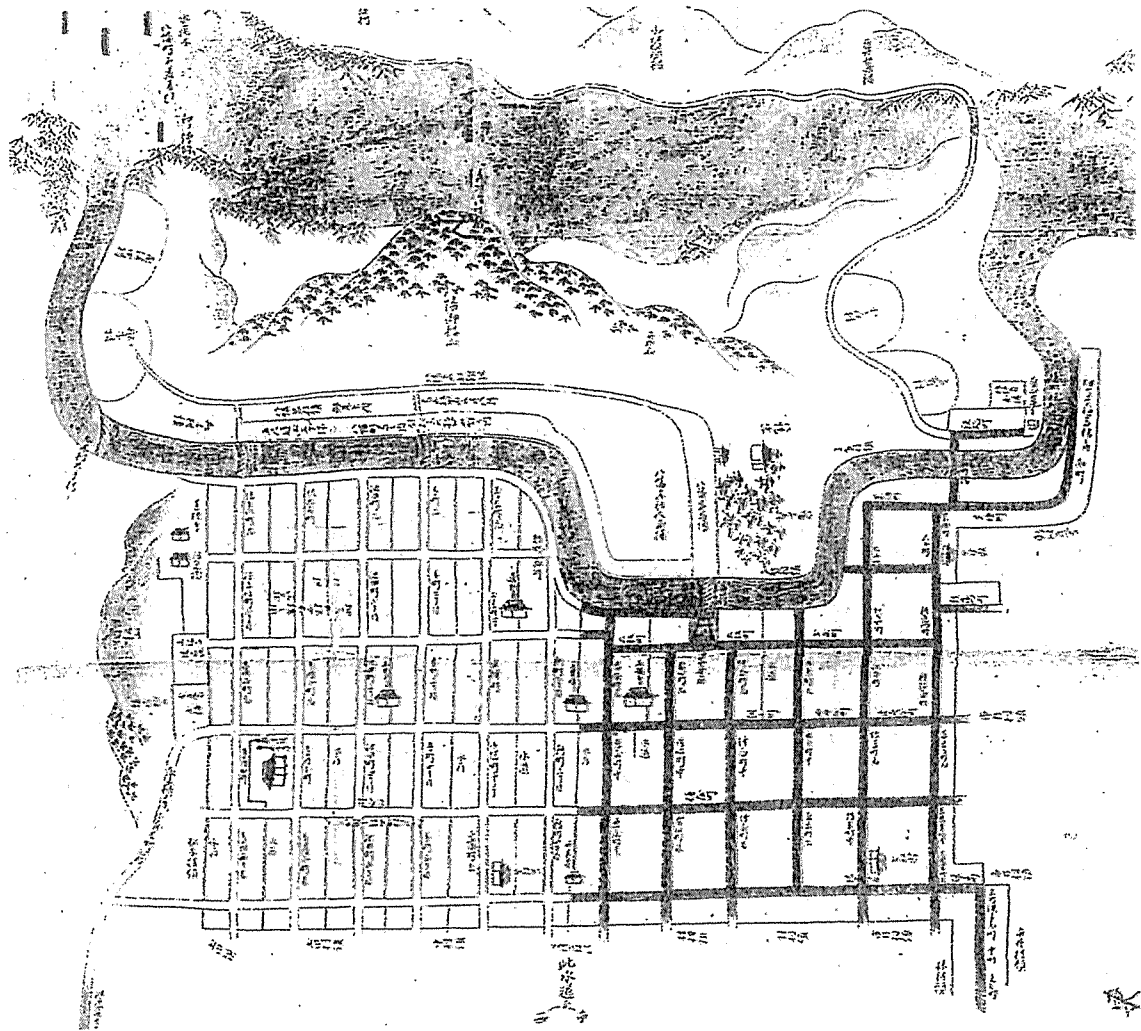


図1 江州蒲生郡八幡町惣絵図

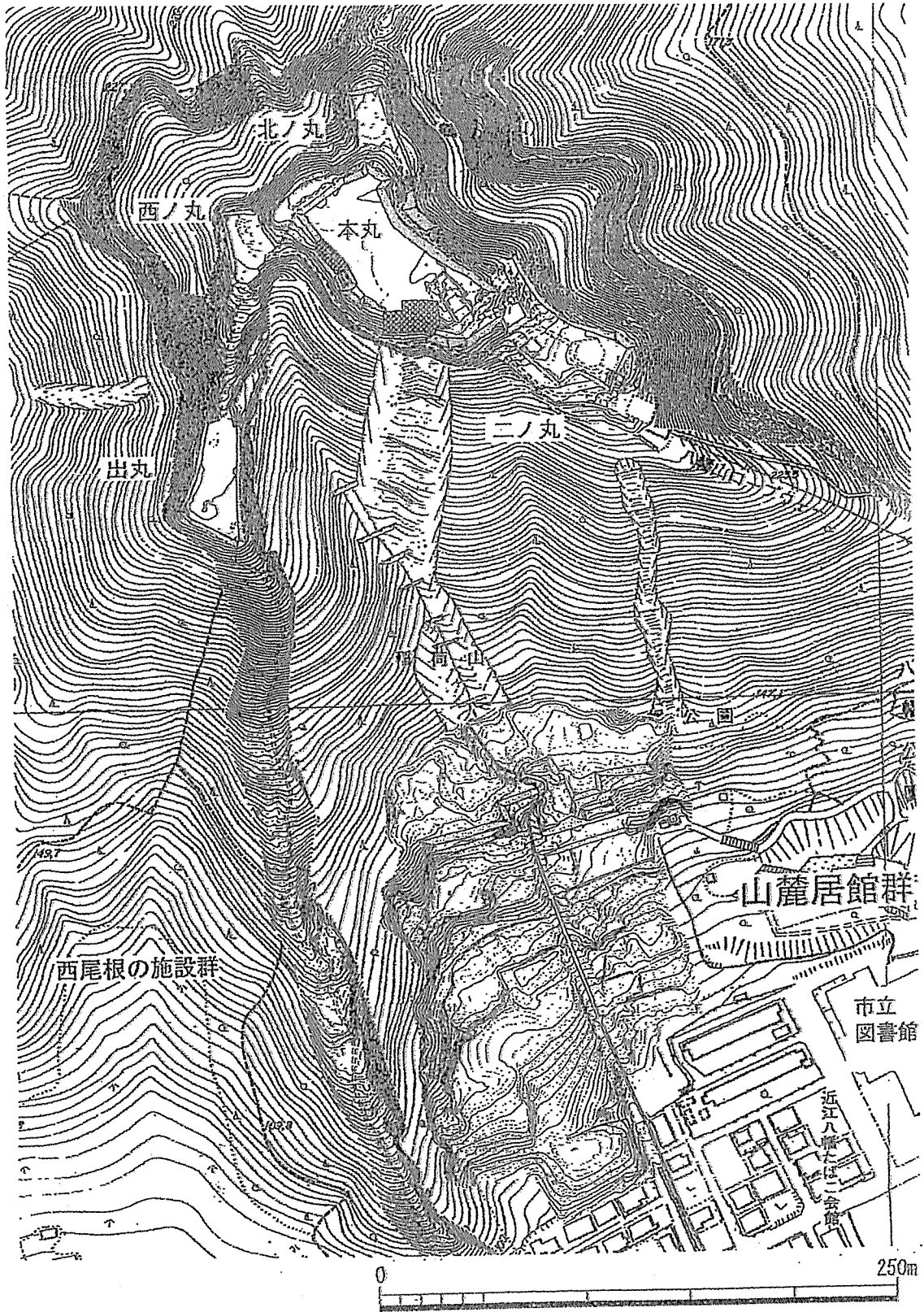


図2 八幡山城跡測量図(近江八幡市作成)

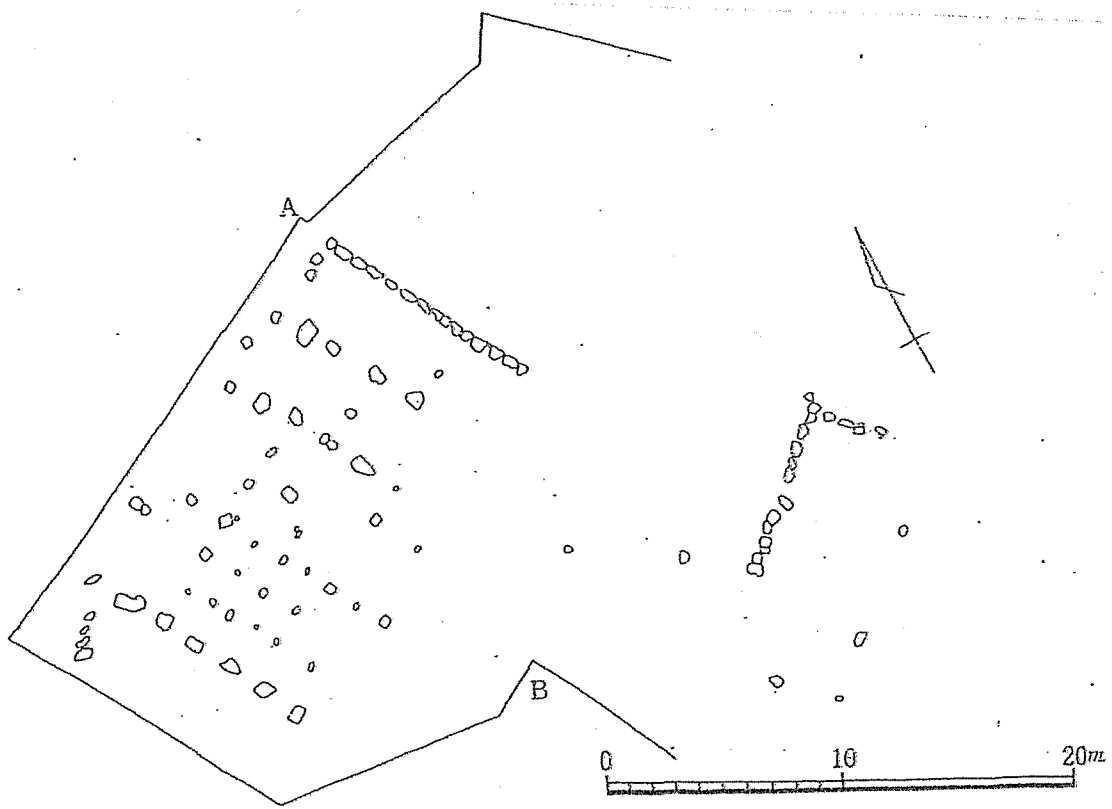


图 3 八幡山城跡昭和 37 年発掘調査検出遺構平面図(中井均作図)

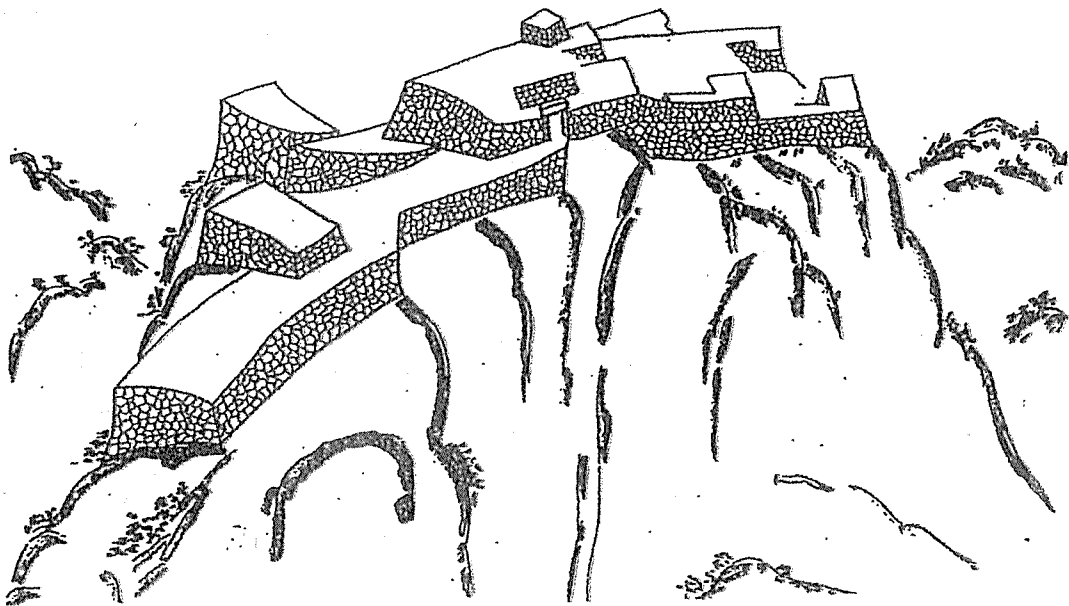


图 4 江州蒲生郡八幡山豊臣関白秀次古城之図(中井均作図)

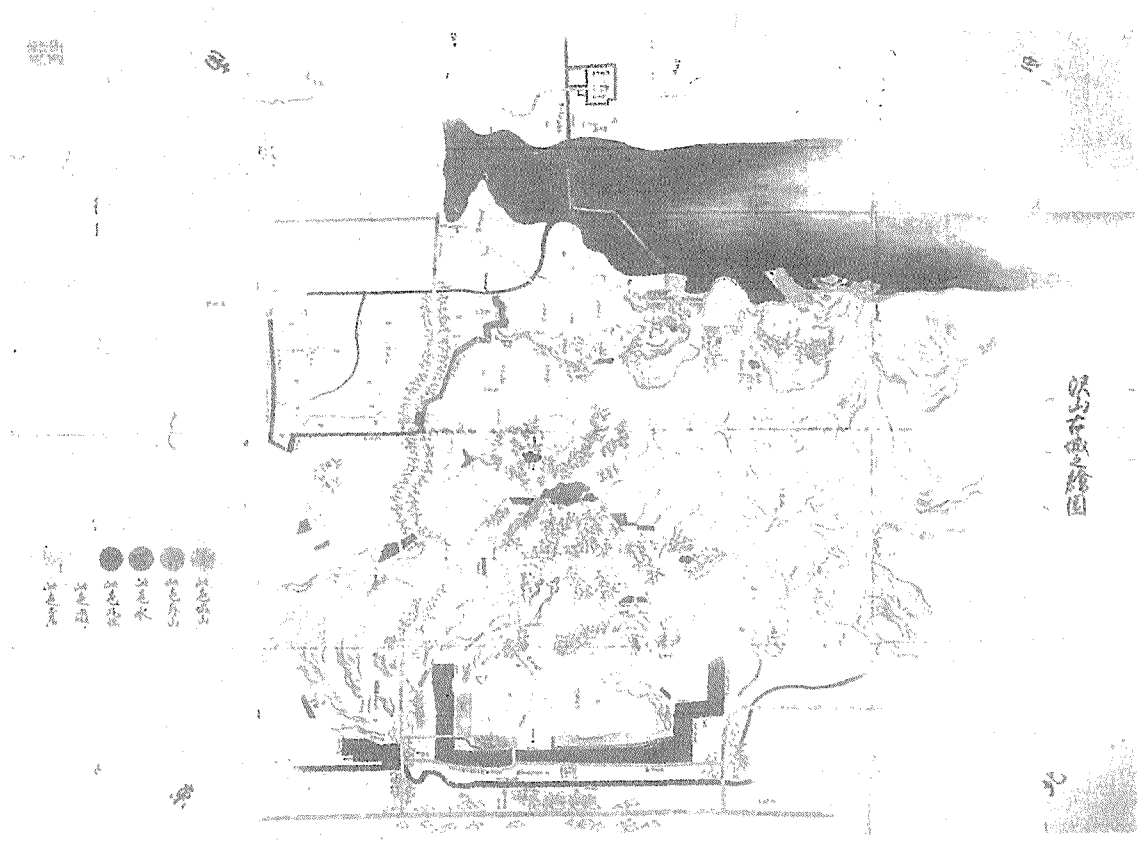


图 5 沢山古城之絵図(彦根城博物館所蔵)

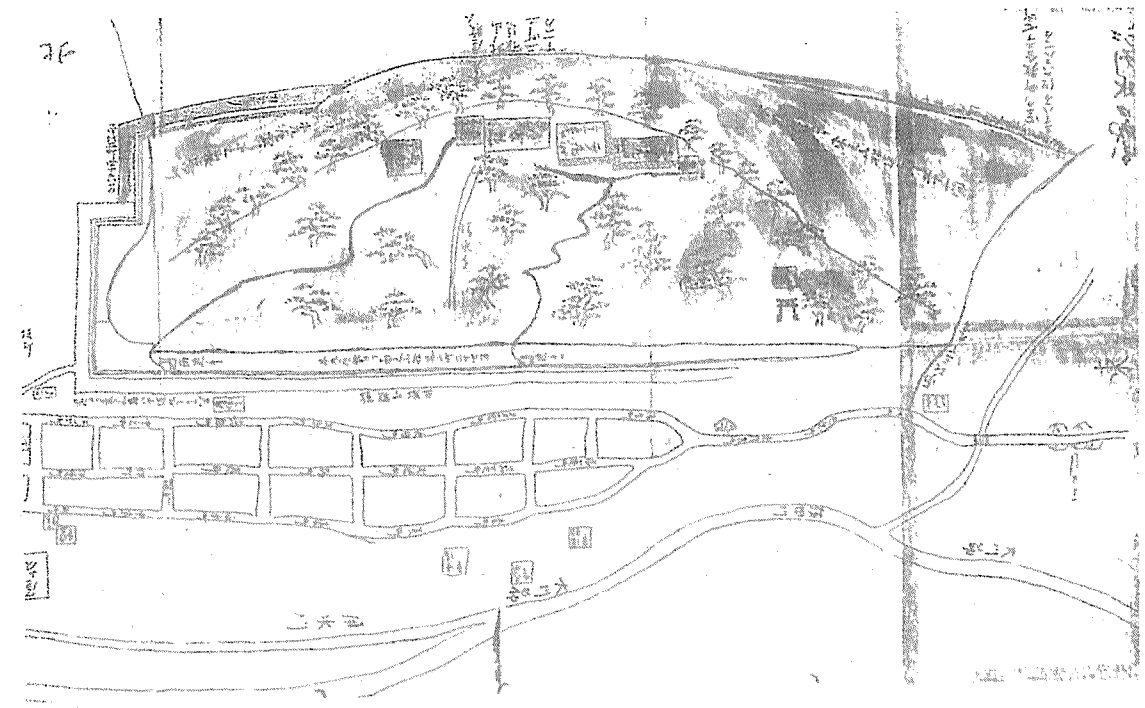


图 6 江州水口城絵図(国立公文書館所蔵)